

---

# 死神

藤川篤人

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

死神

### 【Nコード】

N8604A

### 【作者名】

藤川篤人

### 【あらすじ】

ある実態のない死神が人を次々と死に追いやる…。

## 一章目『扉』（前書き）

初投稿です。悪いところがあれば評価よろしくお願いします！m（

――）m

注意（スプラッター系ではありません。）

## 一章目『扉』

僕はその日いつもどおりに起床した。新聞をとるまではいつもどうりだった。

僕は新聞をとる。新聞のテレビ欄を見る。面白そうな番組がこの日の晩にやっている。

「見なきゃな。」

一人でつぶやく。

そして新聞を開ける。

自分には関係のない記事が並ぶはずだった。しかしそこにはKという親友の名前があった。

記事の内容は確かこんなはずだった。

『工事現場に青年が入り転落死。』

\*\*\*\*\*にある工事現場でKさん（18）

が転落死した。

作業員は全員出はからっていて誰もKさんに気付かなかった。この事件は会社の管理体制が悪かったことが原因であると懸念されている。』

僕は記事を読み終え事件現場の写真を見ておもわず新聞を落としてしまった。

昨日のことだった。

別に何もすることがなく、適当にテレビを回している時携帯電話が鳴った。

Kからだった。

「もしもし、何の用？」

「扉が見えるんだ。」

「頭打ったか？」

「いや、まじめに聞いてくれ。扉が見えるんだ。」

僕は彼の冗談だと思った。

「いいかげんにしてくれ。用事が無いなら切るぞ。」

「聞いてくれ。扉なんだ。白い壁に扉があるんだ。これは夢で見たことがある。確か夢では開けようとしたところで目が覚めたんだ。これは夢じゃない。開けられるんだ！」

全く意味がわからない。

「切るぞ！」

「じゃあ来てくれ。場所は\*\*\*だから。」

「僕を騙して何が面白い!？」

ブツッ

ツーツーツー

全く持つて意味がわからない。行ったらどうせいないだろう。何回かあった手だ。

また携帯電話が鳴った。

「かけてくんない！」

「待ってくれ!切ら…」

ブツッ

ツーツー

僕は電源を切った。

そして僕の鼻屑のお笑い芸人が出てきたのでリモコンを置いた…。

あの時の話は本当だったんだ。写真によると工事現場には白いフェンスに従業員用の出入り口がある。ああ、あの時止めていればその場に僕がいれば!

僕は何の意味もなく外に出た。

最寄りの駅に行く。その時だった。白い壁と扉を見つけた。

あそこには彼が居るんだ。僕を待っているんだ。助けてもらうのを…。

誰かが止める。僕は叫ぶ。

「放せ!あそこには彼が僕を待つて居るんだ!」

僕はその誰かを床に叩きつける。  
そして勢いをつけて飛び込んだ…。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8604a/>

---

死神

2010年10月11日02時14分発行